別表６　令和７年度第６学年生の履修方法
授業科目の名称・単位数・授業時間数・履修年次等

区分		授業科目	単位数（授業時間数） 第１学年次	第２学年次	第３学年次	第４学年次	第５学年次	第６学年次	計	備考
一般教育科目	基礎教育科目群	総合人間科学Ⅰ	2 (30)						2 (30)	４単位選択必修
		総合人間科学Ⅱ	2 (30)						2 (30)	
		大学基礎セミナー	＊ 1 (30)						＊ 1 (30)	必修 ＊印は演習
		健康の科学Ⅰ	＊ 1 (30)						＊ 1 (30)	
		健康の科学Ⅱ	＊ 1 (30)						＊ 1 (30)	
		情報の科学Ⅰ	＊ 1 (30)						＊ 1 (30)	
		情報の科学Ⅱ	＊ 1 (30)						＊ 1 (30)	
		アカデミック・スキルズ	＊ 1 (30)						＊ 1 (30)	
		クリティカル・シンキング	＊ 1 (30)						＊ 1 (30)	
		ドイツ語	＊ 1 (30)						＊ 1 (30)	
	専門準備科目群	統計入門	＊ 1 (30)						＊ 1 (30)	
		生命の科学	＊ 3 (90)						＊ 3 (90)	
		医療プロフェッショナリズム入門	＊ 4 (75)						＊ 4 (75)	
		医療プロフェッショナリズムⅡ		＊ 1 (30)					＊ 1 (30)	
		医療と倫理	1 (15)						1 (15)	
		医療と社会	1 (15)						1 (15)	
		医学英語Ⅰ－１	＊ 2 (60)						＊ 2 (60)	
		医学英語Ⅰ－２	＊ 2 (60)						＊ 2 (60)	
		医学英語Ⅱ		＊ 3 (90)					＊ 3 (90)	
		人の行動と心理	2 (30)						2 (30)	
		医学統計	2 (30)						2 (30)	
		医療行動科学	2 (30)						2 (30)	
合計			32 (735)	4 (120)					36 (855)	最低必修単位数 36

区分		授業科目	授業時間数 第１学年次	第２学年次	第３学年次	第４学年次	第５学年次	第６学年次	計	備考
専門教育科目	人体の正常構造と機能	人体の構造Ⅰ	90						90	必修 全て実習・演習含む
		人体の構造Ⅱ		120					120	
		発生学		30					30	
		組織学		90					90	
		脳・神経・感覚器系		70					70	
		呼吸器系Ⅰ		20					20	
		心臓血管系		50					50	
		腎・尿路系Ⅰ		20					20	
		消化器系Ⅰ		20					20	
		内分泌・生殖器系		50					50	
	生体の機能と反応	代謝と遺伝Ⅰ	90						90	
		代謝と遺伝Ⅱ		70					70	
		微生物学		75					75	
		免疫学		45					45	
		生体と薬物		60					60	
		病態病理		90					90	
	人体の生理的変化、病態、診断、治療	臨床序論			30				30	
		血液・免疫系			60				60	
		循環器系			90				90	
		視覚系			30				30	
		皮膚系			30				30	
		呼吸器系Ⅱ			60				60	
		消化器系Ⅱ			90				90	
		腎・尿路系Ⅱ			60				60	
		麻酔・救急系			30				30	
		耳鼻咽喉・口腔系			30				30	
		内分泌・代謝系			60				60	
		周産期・生殖器系			60				60	
		成長と発達			60				60	
		神経・精神系			90				90	
		運動器系			30				30	
		高齢医学			30				30	
		死と法			30				30	
	診療の基本	診療参加型臨床実習入門			60				60	
	医学・医療と社会				60				60	
	クリニカルスキルアッププログラム					300			300	
	臨床推論						100		100	
	臨床実習					820	1020	315	2155	
	集中講義							150	150	
合計（専門科目）			180	810	990	1120	1120	465	4685	

※行動科学等は6年間を通して系統的に教育する。具体的なカリキュラムについては学習要項に明示する。

行動科学一貫カリキュラム

<table>
<tr><td>学　年</td><td>１学年</td><td>２学年</td><td>３学年</td><td>４学年</td><td>５学年</td><td>６学年</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="3">行動科学・医療行動科学の基礎を学ぶ。</td><td colspan="2">臨床実習にてcase studyを含む、合同カンファレンスを行う</td><td>臨床実習</td></tr>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td>人の行動と心理</td><td colspan="2"></td><td colspan="3" rowspan="3">臨床実習</td></tr>
<tr><td>医療行動科学</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>医療プロフェッショナリズム入門</td><td>医療プロフェッショナリズムII</td><td>医療プロフェッショナリズムIII</td></tr>
<tr><td>評　価</td><td colspan="3">ユニット評価</td><td colspan="3">各診療科の臨床実習評価</td></tr>
<tr><td>教育担当者</td><td colspan="6">責 任 者：堀　有行（行動科学推進ＷＧリーダー）
担当教員：上記授業科目担当教員、行動科学推進ＷＧメンバー</td></tr>
</table>

ＥＢＭ一貫型カリキュラム

<table>
<tr><td>学　年</td><td>１学年</td><td>２学年</td><td>３学年</td><td>４学年</td><td>５学年</td><td>６学年</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="3">各種文献の検索・読解等の基礎スキルを修め、研究実習での実践</td><td colspan="3">PubMed等の利用方法を復習した上で、実習現場での上級医へのプレゼンや電子カルテへの記載等で実践</td></tr>
<tr><td rowspan="3">授業科目
学内制度</td><td>アカデミック・スキルズ</td><td>医学・医療と社会</td><td></td><td colspan="3" rowspan="2">臨床実習</td></tr>
<tr><td>医学統計</td><td>臨床序論</td><td>医療プロフェッショナリズムIII</td></tr>
<tr><td colspan="6">スチューデント・リサーチャー・プログラム（任意）
PubMed、Wiley Cochrane Library等の文書検索・学習ツールを提供</td></tr>
<tr><td>評　価</td><td colspan="3">ユニット評価</td><td colspan="3">各診療科の臨床実習評価</td></tr>
<tr><td>教育担当者</td><td colspan="6">責 任 者：古市　賢吾（ＥＢＭ推進ＷＧリーダー）
担当教員：上記授業科目担当教員、行動科学推進ＷＧメンバー</td></tr>
</table>

社会医学一貫型カリキュラム

学　年	１学年	２学年	３学年	４学年	５学年	６学年
概　要	統計、地域医療、公衆衛生学の基礎知識を修める。救急車同乗体験等で地域医療の関係者への理解を深める。			4年生で在宅訪問実習を行い、5年生で在宅・地域医療を実践する。並行して座学でも知識を定着させる。		
授業科目	医学統計	臨床序論		クリニカルスキルアッププログラム	臨床推論	集中講義
	医療と社会	死と法	高齢医学	臨床実習		
	医療プロフェッショナリズム入門	医学・医療と社会	医療プロフェッショナリズムIII			
評　価	ユニット評価			各診療科の臨床実習評価、標準試験		
教育担当者	責 任 者：山田　和徳（医療倫理学・社会医学・医療法学推進ＷＧリーダー） 担当教員：上記授業科目担当教員、医療倫理学・社会医学・医療法学推進ＷＧメンバー					

医療倫理学一貫型カリキュラム

学　年	１学年	２学年	３学年	４学年	５学年	６学年
概　要	医療倫理学・研究倫理の基礎を学ぶ			臨床現場で求められる題材のcase studyを行う。		臨床実習
授業科目	医療と倫理			クリニカルスキルアッププログラム	臨床推論	集中講義
	クリティカル・シンキング	臨床序論		臨床実習		
	医療プロフェッショナリズム入門	医療プロフェッショナリズムII	医療プロフェッショナリズムIII			
評　価	ユニット評価			各診療科の臨床実習評価、標準試験		
教育担当者	責 任 者：山田　和徳（医療倫理学・社会医学・医療法学推進ＷＧリーダー） 担当教員：上記授業科目担当教員、医療倫理学・社会医学・医療法学推進ＷＧメンバー					

医療法学一貫型カリキュラム

学　年	１学年	２学年	３学年	４学年	５学年	６学年
概　要	法医学等、医療法学の基礎知識を修める			臨床実習現場にて、関連法規に対する理解を深める。並行して座学でも知識を定着させる。		
授業科目		死と法			臨床推論	集中講義
	医療と社会	医学・医療と社会		臨床実習		
評　価	ユニット評価			各診療科の臨床実習評価、標準試験		
教育担当者	責 任 者：山田　和徳（医療倫理学・社会医学・医療法学推進ＷＧリーダー） 担当教員：上記授業科目担当教員、医療倫理学・社会医学・医療法学推進ＷＧメンバー					